



マイグレーションガイド

目次

1章	はじめに	3
2章	準備作業	4
3章	アプリケーションの移行	6
4章	動作確認	11

1章 はじめに

1.1 前提条件

この資料は、DataAnyware 2.0（以下本製品と記述）をアップグレードするための作業を記述しています。

以下の方法で作業を行っていただければ、以前のバージョンで作成したデータを引き続き機能アップされた新しいバージョンでご利用いただけます。

この資料を最後までお読みになってから、作業を始めてください。

1.2 マイグレーション手順

以下の手順でマイグレーションを行ってください。

2 章 準備作業	
☐	作業ユーザーの確認
☐	サービスの停止
☐	アプリケーションのバックアップ
3 章 アプリケーションの移行	
☐	アプリケーションの移行
4 章 サンプルスクリプトの移行	
☐	サンプルスクリプトの移行
5 章 動作確認	
☐	動作確認

2章 準備作業

マイグレーションを行うための準備作業を示します。

2.1 使用しているコンポーネントの確認と再作成

サポート対象外となったグローバルリソースが存在するか確認してください。

該当するグローバルリソースがある場合、サポートされているグローバルリソースに置き換えて下さい。

グローバルリソースの置き換えは、同名の[接続名]のグローバルリソースを作成することで行います。

既存のグローバルリソースのプロパティ[接続名]をメモ帳などに記録し、グローバルリソースの削除を行った後、サポート対象となっているグローバルリソースを同じ[接続名]で新規作成してください。

V1.5.0 よりサポート対象外となったコンポーネント

コンポーネント名	バージョン
Access	2003
Oracle	11g
DB2	9.1 9.5
DB2 UDB iSeries	5.4
PostgreSQL	8.2 8.3 8.4 9.0
Lotus Domino	7.0 8.0

2.2 作業ユーザーの確認

本製品の導入を行った管理ユーザーでログインしていることを確認してください。

2.3 サービスの停止

DataAnywareStudio を起動している場合は停止してください。

サービスから DataAnywareServer、及び DataAnyware Admin Console を停止してください。

2.4 アプリケーションのバックアップ

アプリケーションのバックアップとして、以下のフォルダをバックアップとして保管してください。

- DataAnyware 管理コンソール
[インストールディレクトリ]/AdminConsole/webapps/console
- DataAnywareServer
[インストールディレクトリ]/server
[インストールディレクトリ]/client



アプリケーションのバックアップを作成する際、[コントロールパネル]-[DataAnyware 2.0Server の設定]から、サーバ移行の機能を利用する場合、以下の注意事項がございます。

ご利用される場合には以下の【回避方法】により現象の回避を行っていただきますようお願いいたします。

【現象】

DataAnywareStudio を 64bit アプリケーションとして動作させている場合に発生

「エクスポート先の選択」画面において、プロパティ「エクスポート先」を指定する際、[参照]ボタンをクリックすると、DataAnywareStudio が強制終了する

【回避方法】

- プロパティ「エクスポート先」を手動で入力する

例) C:/tmp

C:/tmp ディレクトリに「export_<出力日付><出力時刻>.zip」の形式で出力されます。

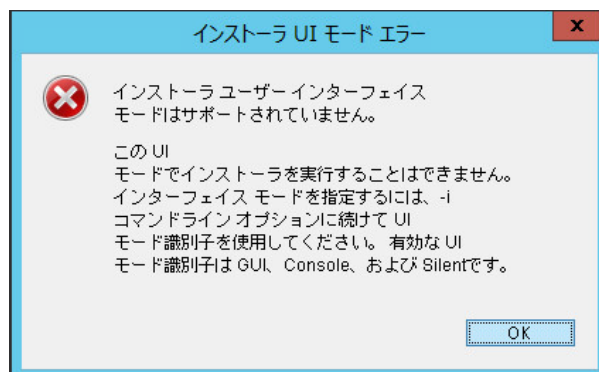
例) export_20141022151510.zip

3章 アプリケーションの移行

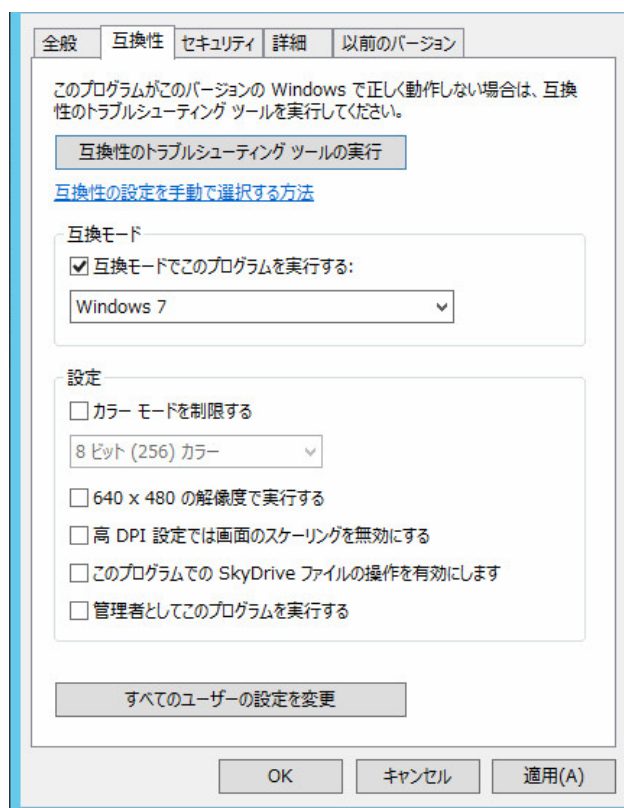
管理コンソールのマイグレーション手順を示します。

Windows Server 2012 環境で実行すると以下のエラーが発生します。

上記環境に導入する場合、DVD-ROM 内の /Module/DataAnyware 2.0_AdminConsole/Setup.exe を互換モード「Windows 7」で実行してください。



エラーメッセージ



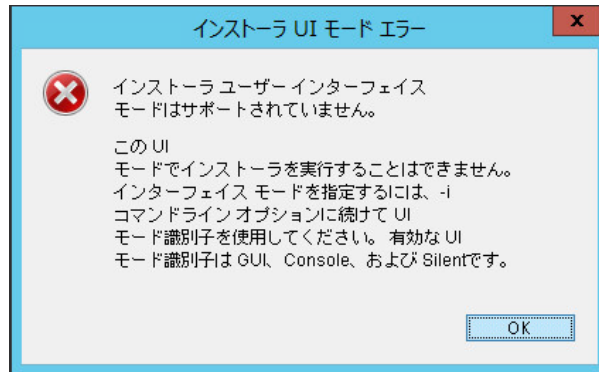
互換モードの設定

1. 管理コンソールのマイグレーションキットを実行してください。
開始画面が表示されるので、管理コンソールが停止していることを確認して、[次へ]ボタンをクリックしてください。
2. [使用許諾契約]が表示されます。内容を確認のうえ、
[使用許諾契約の条項に同意する] を選択し、[次へ]ボタンをクリックしてください。
3. 管理コンソールをインストールしたディレクトリを選択してください。デフォルトでインストールされたディレクトリが入力されているので確認のうえ[次へ]ボタンをクリックしてください。
4. ユーザーdbadmin のパスワードとマイグレーション実行ログを出力するディレクトリを指定してください。
5. 要約が表示されます。入力した値に間違いがなければ
[インストール] ボタンをクリックしてください。
6. インストールが終了するまでしばらくお待ちください。
7. インストール完了画面が表示されます。引き続き Server のマイグレーションを行います。

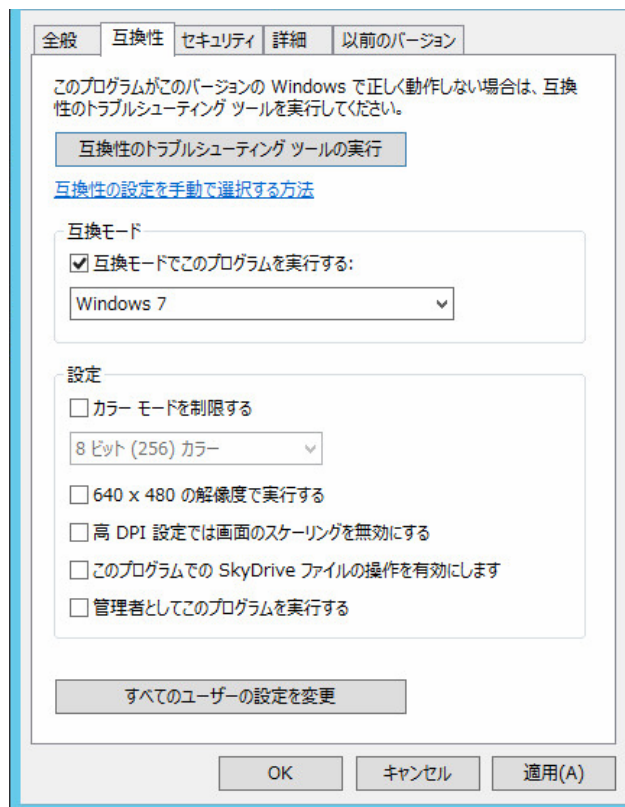
Server のマイグレーション手順を示します。

Windows Server 2012 環境で実行すると以下のエラーが発生します。

上記環境に導入する場合、DVD-ROM 内の /Module/DataAnyware 2.0_AdminConsole/Setup.exe を互換モード「Windows 7」で実行してください。



エラーメッセージ



互換モードの設定

1. DataAnyware のマイグレーションキットを実行してください。
開始画面が表示されるので、Server が停止していることを確認して、
[次へ]ボタンをクリックしてください。
2. [使用許諾契約]が表示されます。内容を確認のうえ、
[使用許諾契約の条項に同意する]を選択し、
[次へ]ボタンをクリックしてください。
3. マイグレーションを行うコンポーネントを選択します。
Server と Client/ Server のみ/ Client のみ のいずれかを選択して
[次へ]ボタンをクリックしてください。
4. [アダプタ選択方法の指定]画面が表示されます。導入するアダプタ
を手動で選択する場合には「カスタム」を選択して、[次へ]ボタンを
クリック押下してください。

オプションアダプタ

(PrintPro, PrintProPDF, PostgreSQL, Salesforce) をご購入されている
場合は「カスタム」を選択してください。
5. ※ 4. で「カスタム」を選択した場合のみ
アダプター一覧が表示されます。導入するアダプタにチェックを入れて
[次へ]ボタンを押下してください。
6. 本製品をインストールしたディレクトリを選択してください。
デフォルトでインストールしたディレクトリが入力されているので
確認のうえ[次へ]ボタンをクリックしてください。
7. CVDB 接続情報を入力してください。
デフォルトでホスト名/IP アドレスに localhost、パスワードに
dbadmin が入力されているので確認のうえ[次へ]ボタンをクリックし
てください。
8. 要約が表示されます。入力した値に間違いがなければ[インストール]
ボタンをクリックしてください。
9. インストールが終了するまでしばらくお待ちください。

10. インストール完了画面が表示されます。

以上でアプリケーションの移行は完了です。

Server、及び管理コンソールを起動してください。

4章 動作確認

- ・ 管理コンソール

1. ログイン画面のバージョン表記が適用したマイグレーションキットのバージョンと一致しているか
2. ログイン可能か
3. 各種リストは正常に表示されているか
4. 各画面に文字化けなどが起こっていないか

- ・ Server

1. ログイン可能か
2. スクリプトが追加されているか
3. [コントロールパネル]- [バージョン情報]から表示されるバージョン表記が適用したマイグレーションキットのバージョンと一致しているか

マイグレーションガイド

第 1 版 2009 年 12 月 4 日

第 7 版 2016 年 11 月 8 日

発行 JB アドバンスド・テクノロジー株式会社

お問い合わせ 弊社ホームページより、お問い合わせください。

<http://www.jbat.co.jp/>

本書は著作権上の保護を受けており、本書の全部あるいは一部に関して、JB アドバンスド・テクノロジー株式会社からの文書による許諾を得ず、無断で複写、複製することは禁じられています。また、本書はユーザーへ通知することなく変更される場合があります。